

「介護相談窓口 通信」 2023年5月号

※豆知識(認知症の方の介護について～初期～)※

認知症の初期は「物忘れ」や「何度も同じことを言う」などの症状が出始める頃になります。この頃は、まだまだ一人暮らしも可能であり、ご自分のことはご自分でできる状態ですので、生活のスタイルを変えないようにすることが必要です。なるべく変化のない暮らしを継続するようにして下さい。

しかし、今後は介護の重要性が増してくる状況ですので、今の初期段階から「訪問介護」や「通所介護(デイサービス)」の利用を開始して下さい。なるべく「訪問介護」を利用し、週に2～3回程度は確認も含めてヘルパーさんに関わってもらおうと良いです。

要介護認定を申請する際に、認知症の診断が無くても、「物忘れ」や「認知症を疑う症状がある」と認定調査でお伝えされれば考慮されます。要支援1・2でも認定されると介護保険制度を利用し介護サービスの利用が可能ですので、早めに申請し、利用されることをお勧めします。

【介護アドバイザー 湯浅 美佐子】

大阪公立大学、大阪教育大学、和歌山大学、積水ハウス株式会社が共同で
「介護相談窓口」開設！

場 所:大阪公立大学杉本キャンパス 1号館1階
女性研究者支援センター(研究推進課分室)
(大阪市住吉区杉本3-3-138)

利用対象:連携機関の研究者、大学院生等

メール:gr-knky-f-soudan@omu.ac.jp

電 話:06-6605-3455

相談窓口HP:<http://www.wlb.osaka-cu.ac.jp/effort/assistance-service/>

※個別の相談には予約が必要です。まずはお電話またはメールにて
お問合せ・ご予約ください。相談は面談やお電話、メールで対応します。

(Zoomによるオンライン相談も可能です。)

ホームページを公開中
<https://diversity-oows.jp/>

介護相談室利用可能日

時間:各日10:00～16:00

2023年

5月18日(木)、5月25日(木)

6月15日(木)、6月29日(木)

次回は、6月初旬に発行します。